地域包括ケア病棟開設に至るまでの経緯と現状報告

看護部

対象患者

急性期医療の治療が終了し、病状が安定した患者に対しての在宅復帰支援

- 平成26年度診療報酬改定：急性期後の受け入れをはじめとする地域包括ケアシステムを支える病棟の充実が求められていることから新たな評価を新設　（60日まで）

地域包括ケア病棟算定基準

在宅復帰率：70%以上

看護必要度A項目1点以上の割合：10%以上

リハビリ施行患者1人当たりの単位数：2単位以上/日

看護配置13：1以上、専従の理学療法士、作業療法士

または言語聴覚士1人以上、専任の在宅復帰支援担当者1人

病棟ＷＴ経緯

	日	会議内容
1	H25.12/11	キックオフ大会
2	12/25	亜急性期病床の入室基準等について
3	H26.1/16	ﾍﾞｯﾄﾞｺﾝﾄﾛｰﾗｰの業務について
4	1/30	退院調整看護師業務について
5	2/27	開設に向けてのｽｹｼﾞｭｰﾙ
6	3/19	地域包括ｹｱ病棟に移す患者シミュレーション
7	4/15	4/13現在の実績と今後の課題
8	5/14	4月実績報告と課題
9	6/17	5月実績報告と課題
10	7/15	6月実績報告と今後の課題
11	9/10	7-8月実績報告と今後の課題
12	11/5	9-10月実績報告と今後の課題
13	12/17	11月の実績報告と今後の課題

4月
30床

7月
40床

10月
50床

病棟WT構成メンバー　委員長：副院長、副委員長：副看護部長、
委員会メンバー：医師8人、看護部15人（各部署師長、副師長）薬剤科1人、
リハビリ科2人、医事課2人、地域連携室1人、栄養科1人他　**計33人**

地域包括ケア病棟対象者の選出～転棟まで

包括ケア病棟対象患者選定
各部署での選定カンファレンスの実施

病棟

地域包括ケア病棟への
転棟は医師の指示

リハビリ対象患者は
担当セラピストに連絡

患者・家族への説明と承諾

地域包括ケア管理一覧表への掲載
電子カルテ・チーム患者一覧・地域包括ケア管理一覧表へ患者氏名・病名等所定の内容を記載

ベットコントロール会議（看護管理部）

地域包括ケア病棟の入室患者を決定し、転棟指示

地域包括ケア病棟への転棟

前病棟師長
が必ず訪室

病棟カンファレンス

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
10:00 ～			C病棟 （産婦人科）		8：30～ウォーキング カンファレンス A病棟 （脳神経外科）
16:00 ～		A病棟 （呼吸器内科）		F病棟 （地域包括ケア 病棟）	D病棟 （消化器内科 外科）
16:30 ～		B病棟 （循環器内科・ 心臓血管外科）			E病棟 （整形外科）

カンファレンス参加メンバー

担当医師、病棟師長（副師長）、病棟看護師、退院調整看護師、理学療法士、ベットコントローラー、管理栄養士

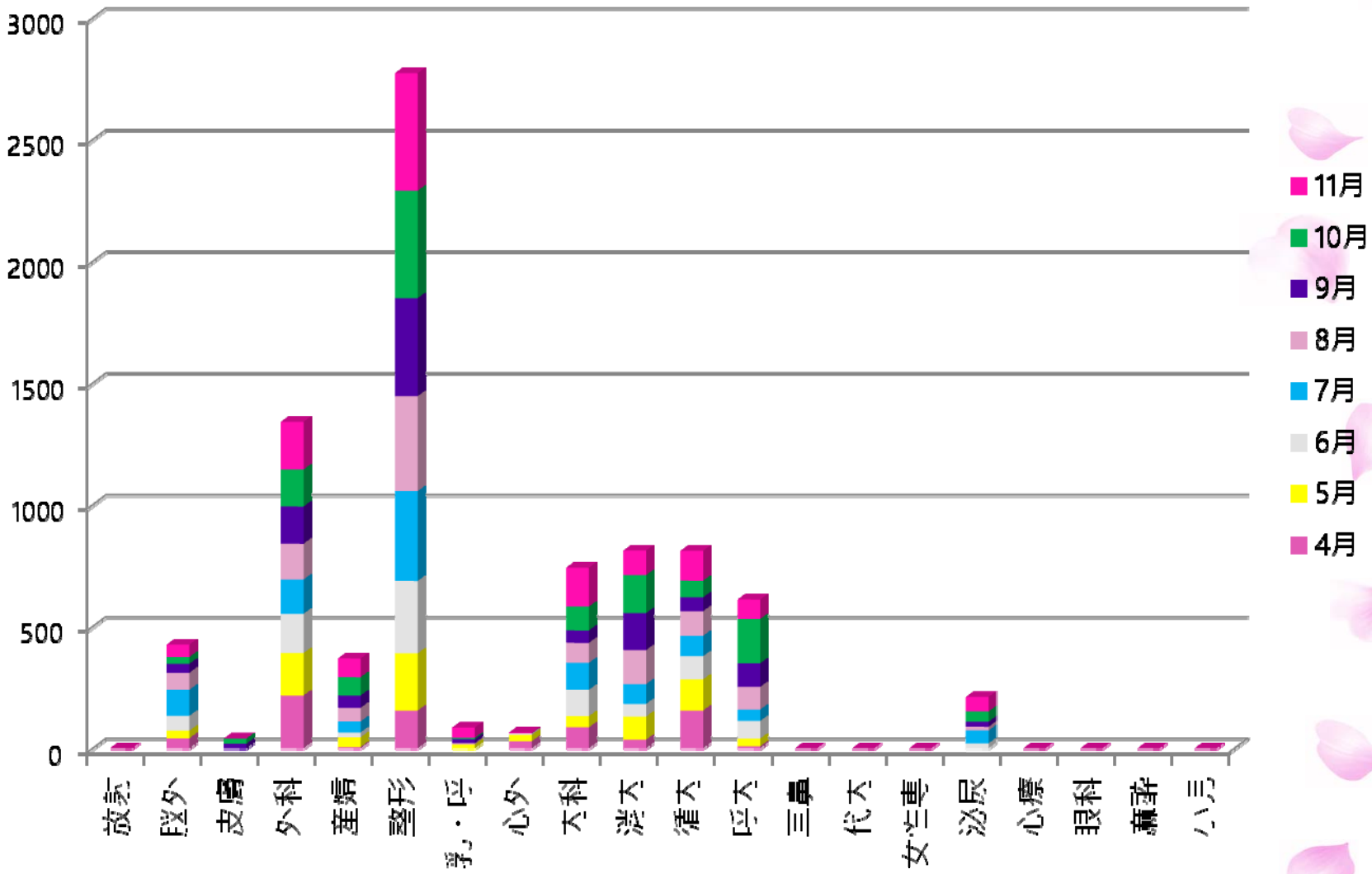
情報管理

院内共有フォルダで
情報の共有とリアルタイムにチェック

- 在宅復帰率
- 患者一人当たりのリハビリ単位数
- 看護必要度A項目10%以上の割合
- 在棟日数の管理
- 病棟科別占有率
- 平均在院患者数・平均在院日数・稼働率
- 科別患者入棟・退棟患者一覧

地域包括ケア病棟　科別、患者総数

H26年、4月～11月のデータ



4月～運用実績

稼働病床数　4月～30床　　7月～40床　　10月～50床

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
平均在院患者数	24.7	26.6	29.8	33.5	35.5	35.3	40.9	45.9

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
看護必要度（Ａ項目）	11.9%	17.8%	16.1%	14.3%	13.1%	14.5%	20.3	14.5

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
平均在院日数（日）	19.0	23.5	21.8	20.4	22.9	26.5	24日	26.5
稼働率（％）	82.2	88.6	99.2	83.7	88.6	88.2	81.9	91.8

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
在宅復帰（％）	96.6	93.5	88.1	83.3	93.8	89.5	84.0	86.0

看護の質向上と協働

多職種協働
役割分担
各職種の専門性を発揮

ケアワーカー
夜勤導入
清潔ケア、排泄ケア
食事介助など積極的
に担ってほしい

看護師・ケアワーカーの
業務分担

ケアワーカーの教育

ケアワーカー処遇

看護師の意識改革

看護補助者教育の充実

・看護補助者業務委員会設立(H24～)

・年間教育計画の立案・実施

・業務役割分担

研修内容

Ｈ26年度教育企画、実施内容

座学	実技研修	院外研修
１．組織について	１．移送	１．自治体病院協議会主催 「医療安全」
２．医療安全/感染管理	２．身体清潔ケア （排泄介助含む）	２．和歌山県がん診療連携協議会 主催 「緩和研修」
３．接遇・倫理	３．食事介助	３．看看連携わかやまﾈｯﾄﾜｰｸ研修 「今時のｴﾝｾﾞﾙｹｱ　ｴﾝｾﾞﾙﾒｲｸ」
４．嚥下機能について	４．医療機器の取扱い	
５．ＭＥ機器研修	５．環境整備	
	６．ＢＬＳ研修	

地域包括ケア病棟の体制

H26年　12月現在

病床数	50床		
看護体制	13対1	看護師数	21名（看護師長含む）
看護補助体制	25対1	ｹｱﾜｰｶｰ数	10名
勤務体制	日勤（平日）	看護師	8～10名
		ｹｱﾜｰｶｰ	４～5名
	日勤（休日）	看護師	4名（11月～）
		ｹｱﾜｰｶｰ	2～3名
	夜勤	看護師	2名
		ｹｱﾜｰｶｰ	1名

職場風景

地域包括ケア病棟の食事介助

チーム医療、多職種の協働